

商品名: AllView PAGE Buffer<sup>®</sup>

English version

商品コード: DS520

容量: 500 ml (20 × 濃縮液)

保存条件: 室温、遮光下

保存期限: 室温で2年



## 特徴

AllView PAGE Buffer<sup>®</sup>は新しいタイプの SDS-PAGE 用泳動バッファーです。Laemmli 法 (Tris-HCl)で作製したゲルと本製品を用いて電気泳動することにより、グラジエントゲルのように広範囲のタンパク質の分離を行うことができます。分離ゲル 6%、濃縮ゲル 3%の推奨アクリルアミドゲルを用いることで、約 10 kDa から 250 kDa のタンパク質を分離することができます。電気泳動後のゲルはそのまま CBB 染色、銀染色、ウェスタンブロットティングなどに使用することができます。

## プロトコル

1. AllView PAGE Buffer<sup>®</sup>を超純水で 20 倍希釈します。  
(例: 25 ml の AllView PAGE Buffer<sup>®</sup>に 475 ml の超純水を加える)
2. ゲルを電気泳動槽にセットします。
3. 電気泳動槽を 1 × AllView PAGE Buffer<sup>®</sup>で満たします。
4. サンプルをアプライします。
5. 泳動をスタートします。

ゲル	電圧	泳動時間
ミニゲル (8 × 10 cm, 厚さ 1 mm)	250 V (定電圧)	15 分

## 注意点:

- AllView PAGE Buffer<sup>®</sup>は Laemmli 法 (Tris-HCl)で自作したゲルに最適化されています (下記『推奨条件』をご覧ください)。
- プレキャストゲルでご使用の場合、種々の添加物質により至適なアクリルアミド濃度が異なる場合や、十分に分離ができないことがあります。一度お試しの上ご使用ください。
- ご使用になった AllView PAGE Buffer<sup>®</sup>希釈溶液の再利用はしないでください。
- AllView PAGE Buffer<sup>®</sup>は 20 × 濃縮液です。1 × に希釈してご使用ください。
- SDS が析出した場合、37°Cのウォーターバス等で完全に沈殿を溶解させた後、室温に戻してからご使用ください。
- 至適泳動時間はアクリルアミド濃度やゲルのサイズ、電圧によって変化します。そのため、泳動状態の確認のためにも着色済み分子量マーカーのご使用をお勧めします。  
(例 DynaMarker<sup>®</sup> Protein MultiColor Stable II, 商品コード: DM660)
- 1 つの泳動槽で 2 枚同時に泳動またはサイズの大きいゲルにて泳動する場合、泳動時の発熱などを防ぎ、より綺麗な泳動像を得るため、あらかじめ AllView PAGE Buffer<sup>®</sup>希釈溶液を冷蔵庫などで冷却してのご使用、さらには冷蔵室内で泳動することをお勧めします。

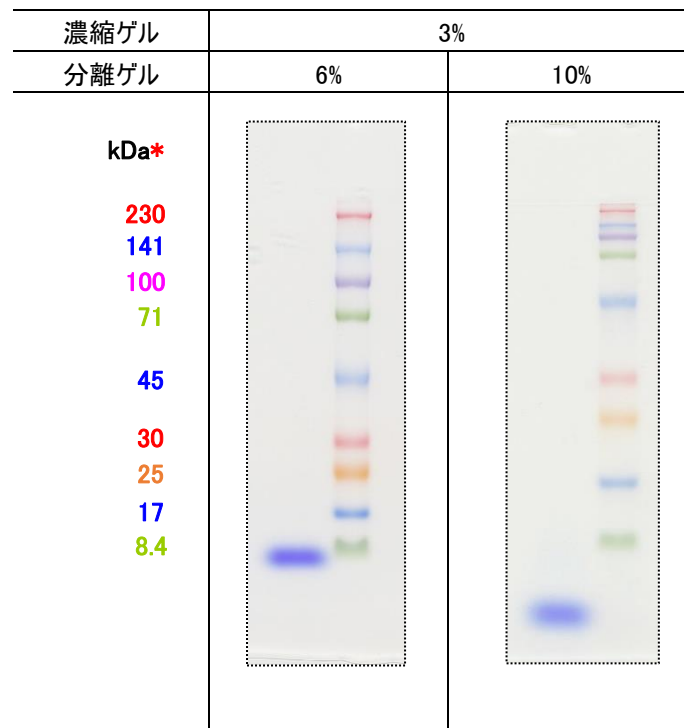
### 推奨条件

推奨アクリルアミド濃度は、分離ゲル 6%、濃縮ゲル 3%となります。この条件で約 10 kDa から 250 kDa のタンパク質を分離することができます。特に低分子領域(10 kDa~30 kDa)のタンパク質の分離が必要な場合は、10%分離ゲルのご使用をお勧めします。

#### 1. ゲルの作製 (Laemmli 法)

表 1. 濃縮ゲルおよび分離ゲルの作製 (ミニゲル 2 枚の場合)

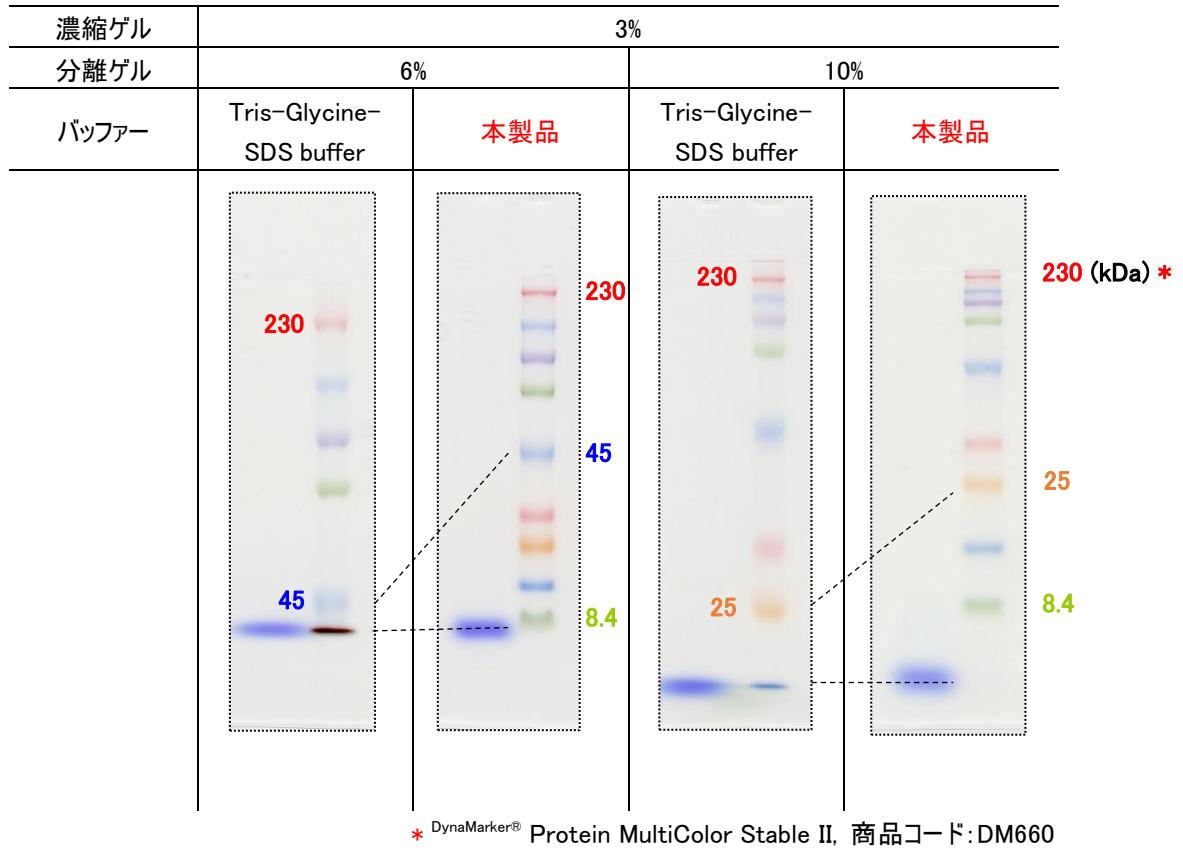
ゲル濃度	濃縮ゲル (6 ml)		分離ゲル (15 ml)	
	3%	6%	6%	10%
超純水	3.9 ml	8.05	8.05	6.05
1.5M Tris-HCl (pH8.8)		3.75	3.75	3.75
0.5M Tris-HCl (pH6.8)	1.5			
30% Acrylamide/Bis solution	0.6	3.0	3.0	5.0
10% SDS	0.06	0.15	0.15	0.15
TEMED	0.003 (3 $\mu$ l)	0.00375 (3.75 $\mu$ l)	0.00375 (3.75 $\mu$ l)	0.00375(3.75 $\mu$ l)
10% APS	0.06	0.05	0.05	0.05



\* DynaMarker® Protein MultiColor Stable II, 商品コード: DM660

## 2. 泳動像

以下の図は AllView PAGE Buffer<sup>®</sup>と Laemmli 泳動バッファー(Tris-Glycine-SDS)の泳動の違いを表しています。このように AllView PAGE Buffer<sup>®</sup>と Laemmli 法 (Tris-HCl)で自作したゲルの組み合わせによって、グラジエントゲルのような広範囲の分離が得られます。



### 関連製品

商品番号	商品名	概要
DM660	DynaMarker <sup>®</sup> Protein MultiColor Stable II	着色済みタンパク質分子量マーカー。4℃で保存が可能。
DS500	QuickBlue Staining Solution	SDS-PAGE後のゲル中のタンパク質染色液(検出限界 $\geq$ 8 ngタンパク質)。Coomassie <sup>®</sup> -G250を主体としており、洗浄・染色・脱色を含むすべての工程を1.5時間で行うことができる。